



ディベロップメンタルケアについて



今この時も、早産で生まれたり、生まれつき何らかの病気をもって生まれたりした赤ちゃんが、全国各地の新生児集中治療室で頑張って治療を受けています。愛しい我が子と24時間一緒に過ごせないお父さん、お母さんも辛い中一生懸命頑張っておられます。そして、お母さんと離れ保育器の中で頑張っている赤ちゃんができるだけ早く元気に大きくなってお家に帰れるよう、治療に当たる医療スタッフも同様に頑張っています。赤ちゃん達は大人に比べ、状態が急変することが多く、小さな異変を見つけて早めに必要な治療を開始することが重要となります。そのために赤ちゃん達は24時間、365日、心電図などのモニターを付けた状態で、1・2時間毎に体温、血圧測定などの処置を受ける必要があります。その頻回の処置やモニターのアラームの音、昼夜関係なく点けられる室内灯の眩しい光が逆に赤ちゃん達にストレスを与えることにもなっています。そのため、室内の照度を落としたり保育器をカバーで覆ったりすることなどで対応し環境を調整したり、治療・看護に当たる医師、看護師などの医療スタッフは、必要な処置を素早く確実にいき、出来るだけ保育器の中に手を入れず観察する努力をしています。しかし、それだけでは十分ではないと考えられており、ディベロップメンタルケアという考え方が広く取り入れられるようになってきました。英語表記ではdevelopmental careとなります。Developmentは発育、発達を、careは世話、保護を意味します。これは以前より早産児からの認知学習障害や情緒行動問題を持つ子供の割合が高いことが指摘されているという事実があり、重要な脳の発育時期の治療環境を出来るだけ良い状態に保つことが重要であるという考えから生まれたものです。私たち新生児集中治療室で働く医療スタッフは、お母さんのぬくもりを直接感じられない赤ちゃん達が治療を受けながらも、いかにお母さんのお腹の中にいた時のような居心地の良い空間で過ごせるかを模索し、日々頑張っています。そのような取り組みの中で実際に行っているものをご紹介します。

まずはネスティング（巣ごもり）と呼ばれるもの。これは赤ちゃんが落ち着いた状態を保てるようにタオルなどで赤ちゃんの周囲に土手を作り、巣ごもりの状態にする処置のことを言います。私たちも狭いところに丸まっていると不思議と落ち着くことがあります。それに似た感覚なのでしょうか。よく泣いていた赤ちゃんがスヤスヤと眠ることが多くなります。またポジショニングと呼ばれる処置も行います。早産児のお子さんは筋力が弱いので自分で良い体勢に変更したり維持したりすることができません。そのため一番身体が楽な位置に保てるようにタオルなどの枕を利用して調整します。

またカンガルーケアと呼ばれるものがありますが、これは実際に赤ちゃんとお母さんの接触により、親子共々気持ち良くなってもらうというものです。カンガルーがお腹の袋の中で我が子を育てる様に似ていることから名付けられたものですが、お母さんやお父さんの胸に赤ちゃんを抱いてもらい過ごしてもらいます。服の上からではなく素肌同士が触れ合った状態での抱っこです。カンガルーケアの最中はそれまで呼吸状態が安定しなかった赤ちゃんも不思議と安定し、お母さん、お父さんもついつい眠ってしまう事も多いです。それだけお互いの安心感が強くなり気持ちの良いものなのだと思います。また、現在、新生児集中治療室内では行っていませんが、比較的大きくなった赤ちゃんを対象とするタッチケアもディベロップメンタルケアの一つです。ベビーマッサージとも言われますが、オムツだけの裸ん坊の赤ちゃんにお母さん、お父さんが優しくマッサージをしてあげるといいます。皮膚を刺激し話しかけることで赤ちゃんの脳の発育にとって、とっても良い刺激になると言われています。

以上のようなディベロップメンタルケアを行いながら、出来るだけ心安らかな状態で入院期間を過ごせるように日々我々医療スタッフは努めています。新生児集中治療室というのは機械的というイメージが強いと思いますが、そのような環境の中でも赤ちゃんやお母さんの心の安寧を常に心がけているハートウォーミングな部署でもあります。

新生児科 診療部長 長谷川 恵子

「おぎゃー!!!」 in 助産院 Sun

助産院でお産ができる方は、
 ※妊娠経過が正常な経産婦さんで、医師より助産院でのお産が可能と言われた方
 ※ご本人とご家族が、助産院でのお産を希望されている方
 ※当病院の産科外来を受診されている方です。

院内助産院でお産をされたお母さんにお話を伺いました。今号は昨年11月に産まれた佐伯 幸加さんです。

現在の心境は？

無事に産まれてくれて良かったです。退院後は、上の子たちが騒がしく静かな時間が無いですがスヤスヤ寝ています。3人目は強いですね(笑)おかげで自分も余裕ができてのんびり子育てを楽しんでいます♡

「助産院で産産しよう！」と思われた理由は？

1人目、2人目は病室の関係で数日お世話になった助産院。入院中とても過ごしやすく、母乳育児の相談も親身になって下さり、助産院のファンになりました。スタッフの方々の人柄も本当に良く、3人目の産産で利用できて良かったと思っています。

助産院でお産をすることで不安な事はありましたか？

分娩台で産産のイメージが強く、量で産めるのかな？と少し不安でした。それ以外は、健診の時にその都度相談に乗っていただいたので、不安に感じることはありませんでした。

「いざ、お産！」から過ごされてみてどうでしたか？

病院に着いてから40分で産まれるスーパー安産でした。陣痛中は、痛みが来る!!というタイミングで腰をさすってもらえ、呼吸やいきみ方もリードしてもらえて良かったです。入院中はのんびり過ごせました。授乳の悩みもあったのですが、しっかりケアしてフォローしてもらえたことがとても心強く嬉しかったです。



お腹にいる時も、生まれてからもみんなのアイドルです♡

ご家族の反応は？

主人は、上2人の時も立ち会ってくれたのですが、初の量は「不思議」だった(笑)と言っていました。

兄(6才)は、2人目の時も立ち会ったので慣れていました。生まれる時、助産師さんに「お兄ちゃん、赤ちゃんの顔が見えるよ!」と声をかけられて頭が出る所を見たようで「こんな顔してる～」と真似していました(笑)

姉(2才)は、痛がる様子を見て、泣きそうになっていました。パパにしがみついて、生まれてから初めての抱っこはキョトンとしてました。でもすぐに慣れて、お世話お姉さんになります(笑)♡

「助産院で産産！」と検討中の皆さんへ、メッセージをお願いします。

産後、自分だけでなく家族とのんびり過ごしたい方、母乳育児をしたい方にオススメです。迷ったけど、助産院を選んで本当に良かったです♡産前・産後にフォローをしっかりしてもらえました。不安なことなど相談しやすく安心して産産できますよ♡

とてもいいお写真ですね。ご家族のみんなが、お腹の赤ちゃんに語りかけてあげているのでしょうか。どんなお話をされていたのでしょうか。そのお腹のBabyが凌晟くんですね♡お産はスピード産産でしたが、バタバタでもなく、和やかな中にも産産直前のドキドキもあり、みんなでその誕生の瞬間を共有できた事、とても素敵でした。(前田)

助産院Sunスタッフより

センター稼働状況

分娩数	45件	緊急帝王切開	8件
母体搬送	6件	NICU稼働率	73.9%
新生児搬送	2件	MFICU稼働率	98.3%

(平成28年2月)

「みんなでひなまつり♪」



by:お飾り隊

編集後記

各地で桜の開花が見られ、いよいよ春がやってきますね!近所の桜もいつの間にか咲いていました。年度末で何かと忙しい方も多いと思います。体調には十分注意してお過ごしください。(T.O☆N.S☆Y.M☆K.H)



周産期センターキャラクター マミー&メイ